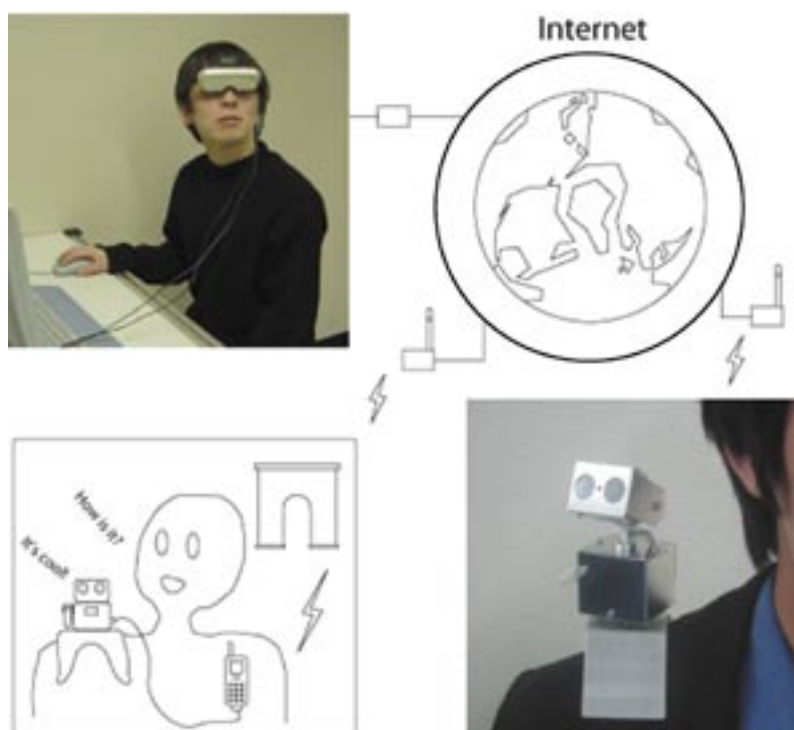


弘前大学総合情報処理センター広報

HIROIN

No. 20



2003. 3

**Hirosaki University Center
For Computer and Communications**

ウェアラブルテレコミュニケーター

理工学部知能機械システム工学科 妻木 勇一

tsumaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

私たちはウェアラブルロボットの研究を行っています。ウェアラブルロボットとは、字の如く身に着けて使用するロボットです。身に着けるためには小さくなければなりません。小さなロボットでは、役に立つ作業を実現することは困難です。そこで、私たちはロボットをコミュニケーションの道具として使うことを提案しています。つまり、遠隔地に居る人が、ロボットを遠隔操作することでロボットの周りの人とコミュニケーションを図るのです。そのようなロボットをテレコミュニケーターと呼んでいます。一種のテレレイグジスタンス技術の一つと位置付けることができます。テレコミュニケーターは、可動式のカメラとポインティング用の腕から構成されます。操作者は、これらを使って見たいところを自由に見たり、ジェスチャを交えながらコミュニケーションを図ることができます。携帯電話とインターネットが発達した現在、表紙の絵のように、このようなことを地球規模で行うことも不可能ではありません。私たちはテレコミュニケーターの研究を行うことで、世界中の人々がより密度の濃いコミュニケーションを図ることができるシステムの構築を目指しています。また、災害時の指揮システムとしても、入院患者のように外に出られない人達にとっても有用なシステムだと考えています。

(写真：理工学部知能機械システム工学科 妻木勇一氏 提供)